

令和2年度年度 地方独立行政法人佐世保市総合医療センター 第3回理事会
【議事録】

- 1 開催日時 令和2年12月11日（金曜日）午後3時から午後4時45分まで
- 2 開催場所 救命救急センター棟6階大研修室
- 3 出席者 10名
 - ◇理事会組織構成役員 8名
 - 澄川理事長
 - 神崎副理事長 早田副理事長
 - 緒方理事 調理事 宮原理事 立石理事 橋高理事
 - ◇監事
 - 渡会監事 西村監事
- 欠席者 1名
 - 中村理事
- 4 事務局 小村事務部長 山口医療技術部長 荻野薬剤部長 木山次長 南川副理事
濱崎総務課長 浦川財務課長 山口総務課主幹 寺松経営企画課主幹
中川経営企画課長補佐 吉浦経理係長 木下施設財産係長
森山医事係長 古里医事課係長 坂田企画係長 中元総務係長
- 5 議決事項
 - 第11号議案 諸料金規程の一部改正について
…遺伝カウンセリング項目の追加
 - 第12号議案 放射線障害予防規程の一部改正について
…法改正に伴う改正

事務局より各種資料に基づき説明がなされ、原案のとおり承認された。

また、11号議案に対しカウンセリングの担当医師がおられるのか確認があり、産婦人科の野々下医師が担当であり、対応できない事例は長崎大学病院への紹介となるとの回答がなされた。

6 報告事項

第4号報告 上半期診療実績について

令和2年4月～9月の診療実績について報告がなされた。

コロナ等の影響により患者数の減は、経営面ではハンデとなるが、地域医療としてはこの病院に来院する必要性が低い患者が来なくなった可能性も考えられるとの意見が出された。

第5号報告 上半期決算について

令和2年4月～9月の上半期決算について報告がなされた。

コロナ影響による赤字分に対して、空床補償で賄えるのかの確認があり、今の見通しでは年間9億の赤字見込みとなるが、空床補償の補てん額見込みは19億のため、赤字免れる予定である。しかし、次年度はどうなるかわからないため次年度に備えていきたいとの回答がなされた。

第 6号報告 令和元年度業務実績に関する佐世保市評価

第1回理事会で承認された「令和元年度業務実績及びその評価」の自己評価に対し、佐世保市からの評価について報告された。

第 7号報告 書面決議事項報告について

第1回理事会以降、書面決議にて承認された議案について報告がなされた。

第 8号報告 ISO15189の取得について

令和2年6月に取得したISO15189についての報告がなされた。

評価体制の維持に対して検査技師数の充足について確認がなされ、現時点32名で次年度補充も予定されており問題ないとの回答がなされた。

第 9号報告 脳死下臓器移植について

令和2年10月に発生した脳死下臓器移植についての報告がなされた。

第10号報告 手術支援ロボット導入について

令和3年4月を予定として、手術支援ロボット導入についての報告がなされた。

操作者の研修はどうなっているかとの意見があり、当面は大学からの支援となるが研修を重ねて対応していくとの回答がなされた。また、オンラインで手術ができることも検討してはどうかとの意見が出され、現時点でオンラインは考えていないが必要に応じて検討していくとの回答がなされた。

7 協議事項

(1) 診療体制について

新型コロナウイルス感染症に関する状況及び診療体制について

がんゲノム医療について

ピクトグラム導入について

土曜日診療予約体制について

(2) 教育・研究について

2020年度初期研修医マッチング結果について

実習受け入れの状況について

(3) 離島医療の状況について

離島医師の状況について

事務局より資料に基づき説明がなされた。

新型コロナウイルス感染症に対する人員体制について確認がなされ、結核病棟看護師による


議事録

対応を行っており、患者数・重症度に応じて呼吸器内科病棟の応援等の配置対応をしている。スタッフの疲弊等についても状況を把握し、対応を行っているとの回答がなされた。

また、土曜日診療予約体制について、他の医療機関の実施の有無と人員体制に関して確認がなされ、他の医療機関も一部実施しており、当院においては対応能力のある人員を1名配置しているとの回答がなされた。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議事録署名人は次に記名押印をする。

令和2年 12 月 17 日

議事録署名人 立石 憲彦  印

議事録署名人 神崎 良平  印

